

キャラクター名 シエルリッテ・フォン・ヴァルンフリート	プレイヤー名
--------------------------------	--------

シンドローム	サラマンダー エグザイル	ワークス	レネガイドビーイングD	カヴァー	メイド
オプション		年齢	19	性別	女性
覚醒	命令	衝動	自傷	初期侵食率	39%
出自	貧乏	経験	記憶喪失	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	54
肉体	4	0	0			4	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	1	0			3	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			R	1		交渉		1
回避	1		知覚			意志	4		調達		5
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド		0	12	0		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲: 0 合計回避: 0

所持品				
ウェポンケース				

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
複製体(デュプリケイト)	P	N		
記憶の中の誰か	P 執着	N 悔悟		
千城寺薫	P 連帯感	N 嫌悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューズネバー	3	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定ダメージを+Lv個 レベルアップ不可。								
オリジン:サイバー	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: シーン中、[社会]を使用した判定の達成値を+[Lv×2]								
氷盾	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: G値を+[Lv*5]								
氷雪の守護	1	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ダメージ後、-[Lv+1]D10 1回/ワウンド								
エリキール	1	5	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果: 「ガード不可」「リアクション不可」に対してガード可。1回/ワウンド								
崩れずの群れ	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガーリング 行動済みにならない 1回/マイ								
命のカーテン	3	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: [崩れずの群れ]が「ガーリング」範囲を10mへ延長 Lv回/ワウンド								
守護者の巨壁	1	6	オート	視界	効果	対決	リミット	
効果: [命のカーテン]対象の攻撃の単体化 被ダメージ不可 1回/ワウンド								
異形の刻印	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: HP最大値+[Lv*5] 基礎侵蝕値+3								
異形の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 重圧時可、パステ1つ解除								
鋼の肉体	4	2	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: HPを[(Lv)D10+(肉体)]回復 暴走以外のパステ解除								
温度調節	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果:								
不燃体	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:								

シエルリッテ・フォン・ヴァルンフリの記憶には至る所に欠損が見られる。幼い頃には大きな館の召使いとして働いていた。常にボロボロの衣類を身につけていた彼女は、来る日も来る日も必死になって働いた。館に来る客人には『くすんだ布切れ』と揶揄され、蔑まれることもあった。そんな、決して幸せな思い出ではないけれど、それでも彼女にとっては思い出すことのできる数少ない大事な記憶だ。

またある記憶では、彼女は戦場にあった。人が死ぬ臭い、叫び声、爆発音。まさに地獄のような風景。そして彼女の背後には、自分が命を賭して守るべき者がいた。甲冑は砕け、剣は折れ、背後からは泣き叫ぶ声が聞こえる。彼女は懸命に、彼女の全てを賭して『彼女』を守った。それからどれくらい時間が経っただろう。その盾はいつしか赤黒く変色しており、気がつく、戦場に立っているのは自分だけだった。襲ってくる敵も、守るべき者も、誰一人として生きてはいなかった。

そして最後に目覚めたのは、つい最近のような気がする。身体は既に成人の肉体であった。眠りから目覚めた彼女の役割は『ファルスハーツ、ジャームといった脅威から、人々を守ること』。そう命じられた。誰に命じられたのかはわからない。ただ、それらの記憶だけを頼りに彼女は今もUGNエージェントとして戦い続けている。

以上のことから、彼女の出自、経歴は特定不可能とされている。イギリスやドイツ、フランスといった地にルーツがあるとされているが、真偽は不明。彼女自身も根無し草であること、特に気にするそぶりがないことから、この件に関してはUGNも不問としている。普段はメイドとして、契約がかわされた一定期間をどこかのUGN支部でエージェントとして活動し、契約終了と同時にまた別の支部へと赴いている。エージェントとしての能力は疑いもないが、メイドとしての能力も非常に優秀で、彼女の契約スケジュールは3年先の期間まで埋まっているという噂もある。

戦闘スタイルは「ブロッカー」。彼女の唯一の手荷物であるアタッシュケースの中には、高出力のエネルギーシールドを生成する籠手が入っており、それを駆使して敵の攻撃を受け切る。数え切れないほどの戦場をくぐり抜けてきた彼女だが、自前のメイド服には一切の血を浴びたことがない。それらは全て、彼女に